

J R 中央西線利便性向上についての要望

J R 中央西線の運行につきましては、日頃から格別なご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

木曾地域は、少子高齢化や若年層の都市部流出等による人口減少が進行し、自治体財政も一段と厳しさが増す中、地場産業の振興、観光振興対策、生活環境の整備等、多くの課題を抱えております。

中でも、J R 中央西線は沿線住民の通勤・通学など、日常の生活路線であるとともに、産業経済活動や観光事業の推進においても重要な交通機関として木曾地域の生活に欠かせない存在であります。ダイヤについては運行本数が限られ、高齢者の通院や買い物、高校生等の通学・通勤の足の確保が十分とは言い難い状況です。

観光面では、近年外国人観光客の利用が増加しているとともに、将来的には、2027 年開業予定のリニア中央新幹線岐阜県駅への重要なアクセス路線でもあります。

貴社におかれましては、私ども木曾地域の実情をご賢察いただき、別記事項の実現・実施が図られますよう格段のご高配を賜りたく、ここにご要望申し上げます。

令和 3 年 3 月 3 日

木曾地域交通網対策協議会

会 長 瀬 戸 普

中央西線輸送強化期成同盟会部会

部会長 原 久仁男

記

1. 通勤・通学の利便性の向上

木曾郡内には木曾福島駅が最寄りの木曾青峰高等学校と南木曾駅が最寄りの蘇南高等学校の2つの県立高等学校があり、多くの生徒がJR中央西線を利用し通学している。

JR中央西線は、通学等に必要不可欠な交通機関であるとともに、そのダイヤは高等学校(定時制を含む)の学校運営と密接な関連があり、ダイヤにより左右される部分が多い。

そのような中、木曾青峰高等学校においては、20時台に木曾福島駅を発車して中津川駅まで運行する上り列車がないため、部活動等のため19時37分発の列車に間に合わなかった生徒は、22時36分発まで駅周辺で待たざるを得ず生徒の安全上好ましくない。

蘇南高等学校においては、南木曾駅着16時19分及び19時19分の下り列車が南木曾駅止まりのため、通常授業終了直後及び、19時に部活を終了し帰宅できる列車がないため、次の列車まで1時間駅周辺で待たざるを得ず、生徒の安全上好ましくない。始業時間についても南木曾駅に到着する上り列車に合わせるため、県下で最も遅い8時55分になっている。

利便性の向上を図るため、上松駅及び南木曾駅止まり・始発列車の発着駅を野尻駅へ延長(できれば中津川、塩尻駅まで延長)をお願いするとともに、通勤・通学の時間帯だけでも増便をお願いしたい。

また、天候悪化に伴う列車運休についての情報提供については、早めの連絡をお願いしたい。

2. 乗り継ぎの待ち時間の解消

J R 中央西線における、郡内の特急停車駅以外の最寄駅を利用する沿線住民は、新宿方面及び長野方面からは塩尻駅で、また、名古屋方面からは中津川駅で普通列車に乗り継ぐ必要があるが、両駅において乗り継ぐ場合に 1 時間以上の待ち時間となる場合が少なくない。

塩尻駅及び中津川駅における乗り継ぎに係る待ち時間（1 時間以内）の解消をお願いしたい。

3. 利用客の利便性向上

近年はキャッシュレス化が進み、特に外国人観光客は現金をあまり持ち歩かないことから、必ずカード決済を確認される状況である。IC カードによるキャッシュレス利用が一般化している状況もあることから、カード決済への対応及び TOICA 等の IC カード対応自動改札機の全駅設置、あるいは車載型 IC 改札機の導入をお願いしたい。

キャッシュレス決済については、新型コロナウイルス感染防止にも資することから、安心・安全のためにも導入していただきたい。

4. 観光誘致、復興支援

長野県や木曽地域への観光誘客や復興支援については、PR やツアー販売等でご協力をいただいているところではあるが、新型コロナウイルス感染症の収束状況を見極めながら、引き続きご協力をお願いしたい。